

2011年度 言語・文化研究所事業報告

辻 憲 男

TSUJI Norio

1. 講演会およびシンポジウム

本年度に計画していた講演会およびシンポジウムは、次年度に開催する。文学部総合文化学科に、平成24年度から「神戸・地域文化コース」が設置されるのに合わせた。神戸や兵庫県の地域社会の文化を踏まえ、自治体や団体、企業等と連携し、現在未来の課題解決に取り組むコースである。また発展的分野として、日本と韓国、中国、アジア諸国との文化比較等、従来の日本語／英語の二分野を拡大深化した科目群も配置した。この講演とシンポジウムは、神戸と世界を結ぶ文化・メディア・産業に関する新視点を提供するものである。

2. 研究

研究の分野では、教員の個人研究が充実した。その成果は総合文化学科発行の紀要『言語文化研究』第6号にまとめた。

3. 教育

教育の分野では、本学留学生のための日本語セミナーを継続実施した。正規の日本語、日本事情関係科目に加えて、さらに日本語運用能力の向上を図るものである。

また、例年どおり、留学生の日本語能力を競うスピーチ大会を開催した。11月6日、大学祭当日、聴衆は約45名であった。話し方だけでなく、話題や構成のすぐれた人が多く入賞した。日本語教員資格科目の実習の一環として、履修生たち自身が企画運営した。

将来は、別におこなっている英語プレゼン大会や、韓国朝鮮語発表会とも協同し、より多数の学生を対象に企画開催することが考えられる。